

実践記録

学校/学年	小学校 / 6年	
教科等：単元名	総合的な学習の時間：情報を扱う上での注意	
キーワード		
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	
	中目標項目番号 中目標項目内容	
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	情報の持つ特質を理解し、生活でどう生かすかを考える	
使用教材	教材名	「ちょっと待って携帯」
	製作者	
	入手先(URL等)	http://www.elnet.go.jp/elnet_docs/keitai-dvd.htm

展開案

	学習活動	指導 評価
導入	携帯の実態を見ながら、欲しいかどうか聞く。 携帯を手に入れたら何をするのかを聞く。携帯をテーマに学習する事を知る。	携帯を使って何をしたいのかを把握する。お金がかかることなど不安要素も一緒に聞きながら感想を言わせる。
展開	ビデオを見る。 携帯を持つ事でどのような生活の変化があるのかを考えてまとめ、発表する。 小学生が携帯を持つことについてどう感じるか意見をいう。	携帯のもつ責任や危険性を学んでいるか。 世界中の人が向こうにいることや危険がすぐに近くにいることに気づくことができたか。個人情報をつかつと入力すると大変なことになることに気づくことができたか。 責任という点を踏まえているか確認する。
おわり	感想を書く。	携帯を持たないのではなく、持つ時期や注意すべき点を理解したか。

授業の成果

- ・子どもたちの半数は興味を持っていたが、使い方に気をつけたいと記している。
- ・インターネットに話を拡張して子どもたちにパソコンの使い方にも広げたが、理解する事ができた。

指導のポイント・留意点

- ・どちらかを勧めるのではなく、メリットとデメリットを考えて自分なりの結論を見つける授業をこころがける